

一般社団法人

日本テレマン協会

2019 年度 活動報告書

バッハからベートーヴェンまで
日本テレマン協会
since 1963



Telemann Institute Japan

CONTENTS

4 TOPICS

- 5 日本テレマン協会について
 - 5 日本テレマン協会について
 - 5 テレマンとは
 - 6 延原武春
 - 7 テレマン室内オーケストラ
 - 7 テレマン室内合唱団

8 公演記録

- 8 定期演奏会
- 11 マンスリーコンサート
- 13 教会音楽シリーズ・その他の主催公演

14 依頼公演について

16 学校公演について

17 社会的活動について

18 年表

20 日本テレマン協会後援会について

- 20 役員名簿
- 20 年表
- 21 法人会員
- 21 個人会員

22 日本テレマン協会ディスコグラフィー



1月21日 第266回定期演奏会 公演風景



11月15日 第505回マンスリーコンサート 公演風景



1月17日 第507回マンスリーコンサート リハーサル風景



2月14日 第508回マンスリーコンサート リハーサル風景



12月25日 第194回教会音楽シリーズ リハーサル風景



12月22日 第九deクリスマス リハーサル風景



9月12日 心に響くクラシック名曲集 リハーサル風景



11月4日 能舞台上で聴くバロック音楽 公演風景



11月15日 第505回マンスリーコンサート 公演風景



7月16日 第261回定期演奏会 リハーサル取材風景



2月22日 生駒「市民みんなで創る音楽祭」 公演風景



12月18日 クリスマス名曲コンサート2019 公演風景



2月14日 第508回マンスリーコンサート リハーサル風景

TOPICS

ベスト・プロデュース賞受賞

創設以来のバロック音楽を中心としたクラシック音楽の普及活動が評価され、2019年度ベスト・プロデュース賞を受賞しました。「ベスト・プロデュース賞」とは、関西の企業や文化人で構成される日本生活文化推進協議会が主催した賞で、豊かな生活文化育成に貢献する個人・団体に贈られています。

選考理由は「創設以来今日まで、多彩

な主催公演を柱に、数多くの演奏活動を各地で展開され、バロック音楽を中心に多くのファンを獲得。また本年4月には、すべての公演が延原武春音楽監督のプロデュース・出演による『マンスリーコンサート』が開催500回を迎えるなど、永年に渡るテレマン室内オーケストラの運営、演奏会プロデュース活動を通じ、クラシック音楽の普及に果たしてこれ

た同協会の歴史に鑑み、その多大なる功績を評価しての授賞となりました。」
(一般社団法人日本生活文化推進協議会ホームページより)

音楽監督延原は神戸新聞の取材に「中世ヨーロッパでは、サロンのように身近な演奏会も大切に。建物の持つ雰囲気と音楽の魅力を融合させ、若い世代に伝えたい」と語っています。



神戸新聞(2019年12月10日)

55周年記念CDリリース

2018年に実施した日本テレマン協会55周年記念公演の8月2日特別公演Vol.1「ショパン・シューマン ピアノ協奏曲」と11月10日第264回定期演奏会東京公演「ブランデンブルク協奏曲全曲公演」がCDとしてリリースされました。ショパン・シューマンのピアノ協奏曲はオリジナル楽器を使用した日本ではもちろん、ヨーロッパでもまだ珍しい取り組みでした。ブランデンブルク協奏曲は、名曲ながら全曲公演が非常に珍しい演目で、2015年から毎年全曲公演を実施しています。



日本テレマン協会 について

日本テレマン協会について

日本テレマン協会は1963年、当時音楽大学の学生であった延原武春（現音楽監督・CEO）が、作曲家テレマンの作品と音楽に対する理念に感銘を受け創設した、18世紀の音楽を専門とする演奏団体です。定期演奏会、マンスリーコンサート、教会音楽シリーズの3種類の主催公演を柱として、関西を拠点に50年以上活動し、これまでに文化庁芸術祭優秀賞やサントリー音楽賞などを受賞しました。2008年には協会創立

45周年を記念し、初演当時の楽器を使用したベートーヴェンの交響曲全曲公演を開催。このことが契機となり延原武春はドイツから功勞勲章功勞十字小授章を受賞しました。また、未来の文化の担い手を育てるため、学校などへの出張コンサートにも積極的に取り組んでいます。

2019年には創設当時からの演奏会プロデュース活動によるクラシック音楽普及に対する功績が認められ、ベストプロデュース賞を受賞しました。

音楽監督・CEO：延原武春
副代表：奥田博子
ヨーロッパ総局長：高野昭夫
ミュージックディレクター／
テレマン室内合唱団指揮者：パブロ・エスカンデ
古典鍵盤楽器奏者：高田泰治
ソロ・コンサートマスター：浅井咲乃
首席客演コンサートマスター：ウッラ・ブンディース
エグゼクティブ・アドヴァイザー：和田誠一郎（弁護士）・永重史郎
オフィス・アドヴァイザー：奥田忠道
アドヴァイザー：辻一郎（元毎日放送取締役）
和田省一（朝日放送音楽振興会理事長）
笠谷和比古（国際日本文化研究センター名誉教授）
上山信一（慶應大学教授／大阪府市特別顧問／愛知県政策顧問）
園崎明夫（毎日新聞大阪開発株式会社代表取締役社長）
事務局長：今井 良
事務局：中田吉美・山口加緒莉・後藤田裕仁子



テレマンとは

ゲオルク・フィリップ・テレマン（1681年3月14日～1767年6月25日）は後期バロック音楽のドイツ人作曲家。バッハ、ヘンデルも足元に及ばない高い評価を受けていた作曲家で、大変な多作家としても有名です。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集。延原武春はテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲している」という言葉に感銘を受け、その名前をかけた楽団を結成しました。

テレマンは大変面倒見の良い人でも

あったそうで、バッハの次男の名付け親でもあり、また自身が音楽監督を務めていたハンプルクで臨終の時を迎える際、後継者にその「次男」カール・フィリップ・エマニュエルを指名したという逸話も残っています。またヘンデルとの親交は深く、ヘンデルはロンドンから様々な珍しい植物をテレマン宛に送っていたそうです。さらに、テレマンが「食卓の音楽」を出版する際、予約者の最初の方にヘンデルの名が入っていることも有名な話です。

1963年日本テレマン協会の前身である“テレマン・アンサンブル”を結成。以来50年余の歳月を経てその業績は目覚ましく、日本におけるバロック音楽の探究と普及という専門的領域のみならず、その広い視野と行動力によって、特に西日本の音楽文化の広範な普及に多大な貢献をもたらした後、近年では長年の古楽探究を礎とした音楽解釈とその熟練された手腕を持つ巨匠指揮者としての今後が多いに嘱望されている。指揮者としてライブツイヒ放送交響楽団やゲヴァントハウス・バッハ・オーケストラなどをはじめとする海外のオーケストラとの共演の機会が幾度もあったにも関わらず、その主眼はあくまでも自らが創設した日本テレマン協会での活動に注が

れた。1970年代後半からその評価は関西を超えて全国的なものとなり、テレマン室内オーケストラ・テレマン室内合唱団との演奏は文化庁芸術祭・優秀賞やサントリー音楽賞を受賞するまでに高く評価されることとなり、さらにはライブツイヒで開催されたバッハ生誕300周年記念国際音楽祭に日本の団体としては唯一招かれる等、ドイツ各地やロンドン、パリ、ボルドー等にも招聘され、M. アンドレ、F. アーヨ、M. ラリュー、J.P. ランパル、H.J. シェレンベルガー、P. ダム、A. ビルスマ、G. カーなどの名手との共演の他、J.E. ガーディナー、F. ブリュッヘン、C. ホグウッド、G. ボッセ等とも親しく交流することとなる。延原武春の音楽的業績は、教会の聖堂を舞台とし

てテレマン作曲の『マタイ受難曲』やマテゾン、テレマン、ヘンデル、カイザーが競作した『ブロックス受難曲』など本邦初演、ヘンデルの『メサイア』9種類の異版を1年に一版ごとに取り上げるなど枚挙に暇がないが、殊にユニークなのが1982年にベートーヴェンの第九交響曲を初演当時の編成と作曲者指定のテンポに従って演奏すること・・・これはその当時としては極めて斬新なアプローチであったため、ガーディナーやホグウッドといった古楽演奏家達が延原の第九の録音を所望したというエピソードは大変興味深い。延原のベートーヴェンに対するアプローチはこれに留まるものではなく、2006年には第九交響曲をクラシカル楽器(古典派時代の楽器)で演奏。



さらに2008年にはクラシカル楽器によるベートーヴェン：交響曲全曲・合唱幻想曲・ミサ・ソレムニス・ツィクルスを挙げる。これが契機となり延原は『ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小授章』を授賞することとなった。延原の活動の中心には常に日本テレマン協会が存在してきたことは言うまでもないことだが、その合間には海外楽団からの招聘や、岩城宏之音楽監督時代のオーケストラ・アンサンブル金沢や九州交響楽団などからバロックから古典のレパートリーのスペシャリストとして招かれることもあった。2009年には久しぶりに大阪フィルに客演することとなり、2010年～12年には大阪フィルは延原とともにベートーヴェン：交響曲全曲シリーズを

主催。『『大阪フィルの次代を拓く』』と言って過言ではない名演』と『『田園』』がかくも力強く、生命力にみちた音で鳴り響いたことはなかったのではないか』(評：故小石忠男／日本経済新聞9月30日夕刊)等と絶賛を博するなど一際大きな話題となった。また、同時期に日本フィル横浜定期演奏会にも客演。その際のブラームス：交響曲第1番(第2楽章は初稿)はEXTONレーベルからCD化された。2011年には延原の元に多くのプレイヤーが集う「一日だけのオーケストラ」としてorchestra Japan 2011が結成され、マーラー：交響曲第4番を演奏。その演奏はライブノーツ・レーベルからリリースされ『レコード芸術』誌で特選盤に選ばれ、これらの成果が契機と

なっている。このオーケストラは2012年にも再結集され、京都・大阪・神戸でやはりロマン派のレパートリーを取り上げている。かつて、アーノンクールやガーディナーといった古楽のスペシャリストたちがヨーロッパのモダン・オーケストラから指揮者として招かれるようになったのと似通ったムーブメントが今、延原武春のもとにも起ころうとしている。

2016年、日本テレマン協会のCEOに就任。2018年には第九アジアカ初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。



1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。「サントリー音楽賞」を受賞した日本初のプロオーケストラでもある(同賞は現在も当協会と東京交響楽団、京都市交響楽団以外のプロオーケストラは受賞していない)。そのほかの主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」(関西初)等。

1990年バロック・ヴァイオリンのサイモン・スタンディッシュをミュージック・アドバイザーとし、バロック楽器(18世紀当時の楽器およびそのレプリカ)による演奏を始める。2003年にはドイツ

ツのバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ・フェスティバル」に出演し、C.P.E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。

2006年からはクラシカル楽器(古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ)による演奏を始め、2007年には同楽器によるF.J. ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。

「マンスリーコンサート」(会場は大阪倶楽部4階ホール)を舞台に「聴衆とともにつくる価値」の創造に力を入れ、そこをベースに様々な奏者を輩出している。チェンバロおよびフォルテピアノの高田泰治、ヴァイオリンの浅井咲乃など

はその代表的な存在として注目を集めている。

2012年にはドイツよりバロック・ヴァイオリン奏者ウッラ・ブンディース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。

2018年、第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。

テレマン室内合唱団 Telemann Chamber Chorus

1969年に延原武春が創設した合唱団。主にテレマン室内オーケストラとともに演奏活動を続けており、1985年には「J.S. バッハ生誕300年記念国際音楽祭」に、日本から唯一招待され参加し現地新聞等やその外電も含め当時大きな評判となる。ホームグラウンドとも言うべきカトリック夙川教会に於ける年4回の「教会音楽シリーズ」は、最も大きな活躍の場となっている。これまでに、ヘンデルの10種類の違ったバージョンを年一回のサイクルで連続的に公演した「メサイア10年連続公演シリーズ」、「ヘンデル本邦初演オラトリオシリーズ」、幻のテレマン作受難曲集の公演「テレマンプロジェクト」、また「延原武春の受難曲シリーズ」を開催するなど、数多くの挑戦的な試みに取り組み、多くの注目と称賛の声を集めている。

特に、大阪のザ・シンフォニーホールにて1983年にスタートした「100

人の第九」と題された公演にはテレマン室内オーケストラと共に出演し、現在でも連続的に継続中しており、人気シリーズとして関西のクラシック音楽の名物公演になっている。

創立50周年を機に、パブロ・エスカンデ氏が合唱団指揮者に、中村朋子氏がディレクターに就任した。エスカンデ氏

は、オランダで作曲家、鍵盤楽器奏者、合唱指揮者としての活躍を経て2012年来日。彼のプログラミングにより、これまで得意としてきた後期バロック時代の作品に加え、初期バロック時代の音楽にも力を入れていくこととなり、新たなレパートリーの拡大とともに、今後の更なる発展が期待される。



公演記録

【計画時】

主催公演 24公演
定期演奏会 9公演
マンスリーコンサート 10公演
教会音楽シリーズ 4公演
その他 1公演
依頼公演 74公演
合 計 98公演

【報告時】

主催公演 22公演
定期演奏会 9公演
マンスリーコンサート 9公演
教会音楽シリーズ 3公演
その他 1公演
依頼公演 89公演
合 計 110公演

定期演奏会 Subscription Concert

第 259 回定期演奏会

古典派二重奏の系譜 Vol.2

日 時 2019 年 4 月 30 日 (火 ・ 祝) 14 時 30 分開演
会 場 東京文化会館小ホール
曲 目 C.P.E. バッハ：ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調
F.J. ハイドン：ヴァイオリン・ソナタ ト長調
W.A. モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ ニ長調
L.v. ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第 1 番
出 演 ヴァイオリン：U. ブンディース
チェンバロ / フォルテピアノ：高田泰治
来場者数 405 名
備 考 首席客演コンサートのウッラ・ブンディース氏をドイツから招聘して実施した公演。前年に引き続き、古典派の二重奏曲を取り上げた内容でしたが、特筆すべきはブンディース氏にとっては新しい演目となったベートーヴェンでした。



第 260 回定期演奏会

大阪市・ハンブルク市友好都市提携 30 周年記念
大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館設立 145 周年記念
テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！
G.Ph. テレマン ハンブルクの潮の満干

日 時 2019 年 5 月 10 日 (金) 18 時 30 分開演
(18:15 より大阪市ハンブルク市友好都市提携 30 周年記念式典)
会 場 大阪市中央公会堂中集会室
曲 目 G.Ph. テレマン：
管弦楽組曲「ハンブルクの潮の満干」ハ長調
管弦楽組曲「アルスター」ヘ長調
協奏曲 ニ長調
ヴィオラ協奏曲 ト長調
出 演 指揮：延原武春
ヴァイオリン：U. ブンディース
ヴィオラ：姜 隆光
コレギウム・ムジクム・テレマン (バロック楽器使用)
来場者数 463 名
備 考 2019 年がテレマンが活躍した都市ハンブルクと大阪市が友好都市提携を結んでから 30 周年ということで、大阪市、ドイツ連邦共和国総領事館との共催で実施した公演。公演に先立ち、ハンブルク市と大阪市それぞれの市長メッセージが披露される式典が実施されました。公演はテレマンの管弦楽組曲「ハンブルクの潮の満干」や「アルスター」などといった名曲ばかりを取り上げた内容となりました。





第 261 回定期演奏会 サリエリ復権

日 時 2019 年 7 月 18 日 (木) 18 時 30 分開演
会 場 大阪市中央公会堂中集會室
曲 目 モーツァルト：交響曲第 25 番 第 1 楽章
A. サリエリ：シンフォニア ニ長調
ピアノ協奏曲 変ロ長調
ラフォリアによる変奏曲
A. サリエリ/W.A. モーツァルト/A. コルネッティ：
カンタータ「オフエーリアの健康回復に寄せて」
出 演 指揮：延原武春
フォルテピアノ：高田泰治 ソプラノ：中村朋子
テレマン室内オーケストラ Classic (クラシカル楽器使用)
来場者数 480 名
備 考 映画「アマデウス」で悪い意味で有名になってしま
ったサリエリですが、実際は優れた教育者であり、作曲家としても人気の高い人でした。また、
モーツァルトとの不仲説を覆す競作のカンタータ「オフエーリアの健康回復に寄せて」も取り上げ
ました。近年、偶然ゲームキャラクターとしてサリエリの人気が高まっていたこともあり、普段と
は違う観客層に多数ご来場頂きました。
本公演ではサリエリの作品の魅力を十分にご紹介することが出来ましたが、サリエリの名誉回復の
ため、以後の演奏会でも序曲などを取り上げていくこととなりました。

第 262 回定期演奏会 高田泰治 チェンバロ・リサイタル

日 時 2019 年 7 月 28 日 (日) 18 時 30 分開演
会 場 東京文化会館小ホール
曲 目 J.S. バッハ：トッカータ ト長調
パルティータ 第 5 番 ト長調
J. クーナウ：聖書ソナタ第 3 番「ヤコブの結婚」
第 6 番「ヤコブの死と埋葬」
出 演 チェンバロ：高田泰治
来場者数 429 名
備 考 ライプツィヒのトーマス教会でカントルを務めて
いたバッハと、その前任であるクーナウの作品を
取り上げました。

第 263 回定期演奏会

ブランデンブルク協奏曲全曲公演

日 時	2019 年 10 月 11 日 (金) 18 時 30 分開演
会 場	大阪市中央公会堂中集会室
曲 目	J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲
出 演	指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ
来場者数	503 名
備 考	継続的に開催しているブランデンブルク協奏曲全曲公演。今回も非常に多数の動員がありました。

第 264 回定期演奏会

ブランデンブルク協奏曲全曲公演

日 時	2019 年 11 月 10 日 (日) 14 時 30 分開演
会 場	東京文化会館小ホール
曲 目	J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲
出 演	指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ
来場者数	546 名
備 考	前年に引き続き、東京でもブランデンブルク協奏曲全曲公演を実施しました。

第 265 回定期演奏会

高田泰治 チェンバロ・リサイタル

日 時	2019 年 12 月 2 日 (月) 18 時 30 分開演
会 場	東京文化会館小ホール
曲 目	J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲
出 演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	442 名
備 考	継続的に開催している高田泰治によるバッハ作曲ゴルトベルク変奏曲公演。

第 266 回定期演奏会

ベートーヴェン生誕 250 周年記念

運命&田園

日 時	2020 年 1 月 21 日 (火) 18 時 30 分開演
会 場	大阪市中央公会堂中集会室
曲 目	A. サリエリ：序曲「海の嵐」 L.v. ベートーヴェン：交響曲 第 6 番「田園」 交響曲 第 5 番「運命」
出 演	指揮：延原武春 テレマン室内オーケストラ Classic(クラシカル楽器使用)
来場者数	529 名
備 考	ベートーヴェン生誕 250 周年を記念し、交響曲の代表作第 5 番「運命」と第 6 番「田園」を取り上げました。人気の演目が 2 曲並んだこともあり、大変多くの方々にご来場頂きました。

第 267 回定期演奏会

ベートーヴェン生誕 250 周年記念

ベートーヴェンとその師匠たち

日 時	2020 年 1 月 26 日 (日) 14 時 30 分開演
会 場	東京文化会館小ホール
曲 目	A. サリエリ：室内小協奏曲 L.v. ベートーヴェン：セレナーデ Op.25 弦楽三重奏曲 op.9-3 F.J. ハイドン：弦楽四重奏曲 Op.20-5
出 演	ディレクター：延原武春 フルート：森本英希 ヴァイオリン：浅井咲乃、檜木花織 ヴィオラ：姜隆光 チェロ：鷺見敏
来場者数	457 名
備 考	ベートーヴェンと、その師であった作曲家たちの室内楽作品を取り上げました。



マンスリーコンサート Monthly Concert

第 500 回マンスリーコンサート

第 500 回記念公演 A. ヴィヴァルディ「四季」

日 時	2019 年 4 月 12 日 (金) 19 時開演
会 場	大阪倶楽部 4F ホール
曲 目	G.Ph. テレマン： チェロ・ソナタ TWV 41:D6 トリオ・ソナタ TWV42:B4 トリオ・ソナタ TWV42:d7 A. ヴィヴァルディ：「四季」全曲
出 演	指揮・オーボエ：延原武春 リコーダー：北山隆 ヴァイオリン：浅井咲乃 チェロ：鷺見敏 テレマン室内オーケストラ
来場者数	298 名
備 考	500 回目を記念し、前半は創設当時によく取り上げていた演目を、後半は現役メンバーによるヴィヴァルディ作曲「四季」を取り上げました。

第 502 回マンスリーコンサート

ヴィヴァルディの饗宴

日 時	2019 年 7 月 26 日 (金) 18 時 30 分開演
会 場	大阪倶楽部 4F ホール
曲 目	A. ヴィヴァルディ： 歌劇「オリンピアード」序曲 RV725 オーボエ協奏曲 イ短調 RV461 チェロ・ソナタ 第 1 番 ヴァイオリン協奏曲「ムガール大帝」 RV208 3 つのヴァイオリンのための協奏曲 RV 551 ヴァイオリンとチェロのための協奏曲 RV 544
出 演	オーボエ：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃 チェロ：鷺見敏 テレマン室内オーケストラ
来場者数	225 名
備 考	ヴィヴァルディ作曲の様々な編成のための協奏曲を取り上げました。

第 501 回マンスリーコンサート

室内楽の真髄 小宇宙に広がるモーツァルトの世界！

日 時	2019 年 5 月 17 日 (金) 18 時 30 分開演
会 場	大阪倶楽部 4F ホール
曲 目	モーツァルト：ディベルティメント Kv563 オーボエ四重奏曲 フルート四重奏曲
出 演	オーボエ：延原武春 フルート：森本英希 ヴァイオリン：浅井咲乃 ヴィオラ：姜隆光 チェロ：鷺見敏
来場者数	232 名
備 考	モーツァルトのオーボエ、フルートを伴った四重奏と、弦楽三重奏の大曲「ディヴェルティメント Kv.563」全曲を取り上げました。

第 503 回マンスリーコンサート

弦楽アンサンブルの妙～弦合奏と室内楽～

日 時	2019 年 8 月 30 日 (金) 18 時 30 分開演
会 場	大阪倶楽部 4F ホール
曲 目	芥川也寸志：弦楽のための三楽章 O. レスピーギ：古風なアリアと舞曲 第 3 番 F. メンデルスゾーン：弦楽八重奏曲 Op.20 ディレクター：延原武春 テレマン室内オーケストラ
来場者数	221 名
備 考	弦楽アンサンブルを「合奏」と「室内楽」の両面からお楽しみ頂けるプログラムとして、ロマン派から近代にかけての演目を取り上げました。



第 504 回マンスリーコンサート フランス語で歌うシャンソン Vol.10		
日 時	2019 年 9 月 27 日 (金) 18 時 30 分開演	
会 場	大阪倶楽部 4F ホール	
曲 目	F. プーランク：「牝鹿」より「ロンド」 G. フォーレ：夢の後に C. サン＝サーンス：白鳥 オーボエ・ソナタ 第 2 楽章 F. プーランク：愛の小径 私の人生・私の孤独 枯葉・愛は君のように 待ちましょう・忘れじの面影 水に流して ほか	
出 演	指揮：延原武春 テレマン弦楽四重奏 ヴォーカル：梨里香 永海孝 コンボ：ストンプ in TELEMANN ピアノ：にしかわまこと ベース：堺重幸 ドラム：山下嘉範 テレマン・アンサンブル MC: 中村朋子	
来場者数 備 考	263 名 毎年恒例のシャンソンの公演。前半にはプーラン クやフォーレといったフランスの作曲家の作品を 取り上げました。	

第 505 回マンスリーコンサート テレマン&ヘンデル ハンブルクからロンドンへ…文通が育んだ友情		
日 時	2019 年 11 月 15 日 (金) 18 時 30 分開演	
会 場	大阪倶楽部 4F ホール	
曲 目	G.F. ヘンデル 合奏協奏曲 op.6-5 組曲「調子のよい鍛冶屋」 オーボエ協奏曲 ト短調 G.Ph. テレマン 3つのヴァイオリンのための協奏曲 トリオ・ソナタ ハ短調	
出 演	指揮・オーボエ：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ	
来場者数 備 考	234 名 ハンブルクとロンドンで手紙を通じて交流のあつ たテレマンとヘンデルの作品を取り上げました。	



第 506 回マンスリーコンサート 高田泰治 J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲		
日 時	2019 年 12 月 5 日 (木) 18 時 30 分開演	
会 場	大阪倶楽部 4F ホール	
曲 目	J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988	
出 演	チェンバロ：高田泰治	
来場者数 備 考	211 名 毎年恒例のゴルトベルク変奏曲の公演。毎年着実 にリピーターが増えつつあります。	

第 507 回マンスリーコンサート ベートーヴェン生誕 250 周年記念 ベートーヴェンとその師匠たち		
日 時	2020 年 1 月 17 日 (金) 18 時 30 分開演	
会 場	大阪倶楽部 4F ホール	
曲 目	A. サリエリ：室内小協奏曲 L.v. ベートーヴェン：セレナーデ ニ長調 Op.25 弦楽三重奏曲 op.9-3 F.J. ハイドン：弦楽四重奏曲 Op.20-5	
出 演	ディレクター：延原武春 フルート：森本英希 ヴァイオリン：浅井咲乃、榎木花織 ヴィオラ：姜隆光 チェロ：鷺見敏	
来場者数 備 考	224 名 ベートーヴェンと、その師であった作曲家たちの 室内楽作品を取り上げました。	

第 508 回マンスリーコンサート My Funny Valentine ～ヴァレンタインの夜に…～		
日 時	2020 年 2 月 14 日 (金) 18 時 30 分開演	
会 場	大阪倶楽部 4F ホール	
曲 目	ビートルズ：「イエスタデイ」「ヘイ・ジュード」 Tea for Two On The Sunny Side of the Street 黒いオルフェ 枯葉（英語版） My Way 思い出のサンフランシスコ 「アラジン」より「A Whole New World」 マイ・ファニー・ヴァレンタイン Let Me Try Again ほか	
出 演	指揮：延原武春 ヴォーカル：永海孝 原田紀子 コンボ：ストンプ in TELEMANN ピアノ：高岡正人 ベース：堺重幸 ドラム：山下嘉範 テレマン・アンサンブル MC: 中村朋子	
来場者数 備 考	261 名 毎年恒例のスタンダード JAZZ の公演。前半には ビートルズの作品を取り上げました。	

第 509 回マンスリーコンサート 高田泰治チェンバロ・リサイタル		
日 時	2020 年 3 月 27 日 (金) 18 時 30 分開演【延期】	
会 場	大阪倶楽部 4F ホール	
曲 目	J.S. バッハ：平均律クラヴィア曲集 第 1 巻	
出 演	チェンバロ：高田泰治	
来場者数 備 考	- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期と なりました。	

教会音楽シリーズ Church Concert

第 192 回教会音楽シリーズ

創造の靈感

日 時	2019 年 6 月 14 日 (金) 18 時 30 分開演
会 場	カトリック夙川教会聖堂
曲 目	W.A. モーツァルト：教会ソナタ 第 4 番 Kv144 G. アレグリー：ミゼレーレ W.A. モーツァルト：教会ソナタ 第 8 番 Kv244 J.S. バッハ：われを祝福せずば、汝を放さず J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 第 1 番より Prelude, Gigue A. ロッティ：十字架に架けられて W.A. モーツァルト：教会ソナタ 第 17 番 Kv336 テレマン / バッハ：全地よ、主を歓喜せよ W.A. モーツァルト：ミサ曲 ハ短調 Kv427 より "Domine Deus" A. ヴィヴァルディ：弦楽のための協奏曲 ト短調 A. ヴィヴァルディ：マニフィカト ト短調 RV610 ミュージックアドヴァイザー・指揮： パブロ・エスカンデ ソプラノ：中村朋子、渡辺有香 アルト：伊豆田佑香 テノール：小川歩 バス：林康宏 ディレクター：延原武春 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ 311 名 新しく合唱団の指揮者に就任した P. エスカンデ氏のプロデュースによる公演。作曲家から作曲家へと受け継がれた「創造の靈感」のバトンを辿るプログラム。珍しい曲を多く取り上げました。
出 演	
来場者数 備 考	

第 193 回教会音楽シリーズ

テレマン室内合唱団創立 50 周年記念

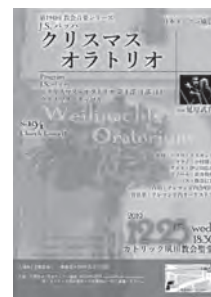
楽園の音楽

日 時	2019 年 10 月 5 日 (土) 15 時開演
会 場	カトリック夙川教会聖堂
曲 目	G.Ph. テレマン：葬送カンタータ J.S. バッハ：カンタータ 第 158 番、第 106 番 D. スカルラッティ：スタバト・マーテル H.I.F.v. ビーバー：ロザリオのソナタ A. ヴィヴァルディ：トリオソナタ RV779 ミュージックアドヴァイザー・指揮： パブロ・エスカンデ ソプラノ：中村朋子・渡辺有香 アルト：伊豆田佑香 テノール：小川歩・松原友 バス：篠部信宏・林康宏 ほか ディレクター：延原武春 バロック・コア・テレマン コレギウム・ムジクム・テレマン 302 名 P. エスカンデ氏プロデュースによる公演。葬送音楽を中心に取り上げました。
出 演	
来場者数 備 考	

第 194 回教会音楽シリーズ

季節到来！J.S. バッハ クリスマス・オラトリオ

日 時	2018 年 12 月 25 日 (火) 18 時 30 分開演
会 場	カトリック夙川教会聖堂
曲 目	J.S. バッハ：クリスマス・オラトリオ第 1～3 部 モテット BWV229 モテット BWV230 クリスマス・キャロル 指揮：延原武春 パブロ・エスカンデ (モテット) ソプラノ：中村朋子 アルト：伊豆田佑香 テノール：新井俊稀 バス：篠部信宏 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ 369 名 毎年恒例のクリスマス・オラトリオの公演。前半は P. エスカンデ氏の選曲でバッハ作曲のモテットを 2 曲取り上げました。カトリック夙川教会の年末の風物詩として本公演も例年通り大変たくさんの方にご来場頂きました。
出 演	
来場者数 備 考	



第 195 回教会音楽シリーズ

古楽界の巨匠延原武春がバロック楽器で贈る大バッハの哲学世界 ヨハネ受難曲 BWV245

日 時	2020 年 3 月 14 日 (土) 15 時開演【中止】
会 場	カトリック夙川教会聖堂
曲 目	J.S. バッハ：ヨハネ受難曲 BWV245
出 演	指揮：延原武春 福音史家：新井俊稀 イエス：湯浅貴斗 ソプラノ：中村朋子 アルト：渡邊由美子 テノール：小川歩 バス：林康宏 ミュージックアドヴァイザー / 通奏低音： パブロ・エスカンデ バロック・コア・テレマン コレギウム・ムジクム・テレマン - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。
来場者数 備 考	

その他の主催公演 Other Concerts

高田泰治のフランス音楽 Vol.6

日時 2019 年 11 月 17 (日) 15 時開演

会場 稲畑ホール

依頼公演 について

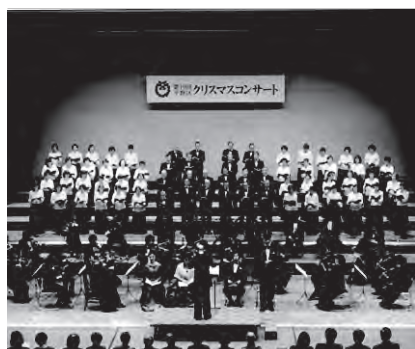
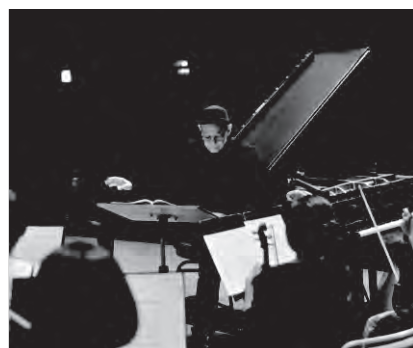
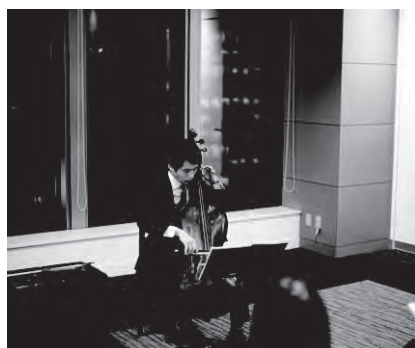
自治体、企業、団体、ホールなどからの依頼公演を89公演開催し、18世紀音楽の普及に努めるとともに、都心部から離れた会場での公演では、地域のサロンづくりに貢献することが出来ました。

単年度ではなく、継続的にご依頼いただいている公演は「第九 de クリスマス（大阪市／ザ・シンフォニーホール）」、「ベガメサイア（宝塚市／ベガホール）」、「アバンザ・ランチタイム・コンサート（大

阪市／堂島アバンザ）」、「バロックコンサート（池田市／池田市民文化会館）」、「テレマンのバロックの宴（伊丹市／旧岡田家住宅・酒蔵）」、「学園前公演（奈良市／学園前ホール）」、「テレマンコンサート in 中崎公会堂（明石市／中崎公会堂）」、「ティータイムコンサート（高槻市／高槻現代劇場）」、「大阪市中央公会堂貸切公演（大阪市／クラブツーリズム）」などとなっております。

令和元年度には新たに堺能楽会館等からのご依頼があり、同会館設立50周年記念公演に出演。以後も継続的に公演を実施していくご依頼を受けております。

内容としては、高田泰治のソロリサイタルから5～6名の室内楽、合唱団と楽団併せて100名程度のもので多岐にわたり、後期バロックから古典派を中心に、幅広いコンテンツを提供致しました。





依頼公演の分布（月別）

依頼公演	（主催公演）
4月 7公演	（ 2公演）
5月 6公演	（ 2公演）
6月 2公演	（ 1公演）
7月 12公演	（ 3公演）
8月 2公演	（ 1公演）
9月 17公演	（ 1公演）
10月 10公演	（ 2公演）
11月 10公演	（ 2公演）
12月 13公演	（ 3公演）
（2020年）	
1月 4公演	（ 3公演）
2月 5公演	（ 1公演）
3月 1公演	（ 0公演）
合計 89公演	（21公演）

依頼公演の分布（地域別）

北海道	石川県	岡山県
青森県	福井県	広島県
岩手県	山梨県	山口県
宮城県	長野県	徳島県
秋田県	岐阜県	香川県
山形県	静岡県	愛媛県
福島県	愛知県	高知県
茨城県	三重県	福岡県
栃木県	滋賀県	佐賀県
群馬県	京都府	長崎県
埼玉県	大阪府	熊本県
千葉県	兵庫県	大分県
東京都	奈良県	宮崎県
神奈川県	和歌山県	鹿児島県
新潟県	鳥取県	沖縄県
富山県	島根県	その他

学校公演 について

依頼公演のうち、25公演は学校を対象とした公演でした。内容としては、各開催校様のご要望を取り入れつつ独自のプログラムを作成していますが、当協会の主力の演目でもあるヴィヴァルディ作曲「四季」を主体としたものが多くなっています。また、各開催校様の校歌を管弦楽編曲し、普段はピアノ伴奏で歌われている校歌をオーケストラ伴奏で歌って頂きます。

学校公演のうち、文化庁の令和元年度文化芸術による子供の育成事業一巡回公演事業一（以後 文化庁巡回公演）は24公演（12校）あり、九州地方の学校を巡回して公演しました。文化庁巡回公演は鑑賞だけではなく体験にも重点を置いた事業であるため、公演に際しては共演のプログラムを用意し、事前に別日程のワークショップを実施しています。公演の内容は、バロック時代の有名な曲を

中心に構成し、鑑賞する児童・生徒に馴染みの深いリコーダーの独奏曲や協奏曲などを取り上げております。基本的には短い曲が多い構成となっていますが、プログラムを順にお聴き頂くと、各弦楽器からチェンバロ、トランペットと、バロック音楽のオーケストラで使用されている楽器について学べるように構成されています。さらに、プログラムにはバロック音楽や楽器についての簡便な説明も掲載しています。（右写真）

演目の最後にはテレマン作曲「3つのトランペットとティンパニのための協奏曲」を全て聴くようになっており、「多楽章の曲は楽章間で拍手をしない」ことなど、「少し長い曲をどのように聴くのか」ということについても学んで頂けるような構成となっています。



◎巡回公演事業とは

文化庁が選定した文化芸術団体が、学校の体育館や文化施設でオーケストラ、演劇等の巡回公演を行います。本公演前に文化芸術団体が実施校へ赴き、鑑賞

指導や実技指導を行うワークショップでは、公演の鑑賞や児童・生徒との共演をより効果的なものとする事ができます。普段授業などで使っている体育

館が、工夫次第で素晴らしい舞台へと変わっていく様子を体感することができます。

（文化芸術による子供の育成事業ホームページより）

文化庁巡回公演の日程

【ワークショップ】

7月 2日（火）	佐伯市立直川小学校
7月 3日（水）	佐伯市立本匠小学校
7月 4日（木）	出水市立野田中学校
7月 8日（月）	日田市立南部中学校
7月 9日（火）	日南市立桜ヶ丘小学校
7月10日（水）	薩摩川内市立蘭牟田小学校
7月12日（金）	いちき串木野市立串木野西中学校
7月17日（水）	鹿児島市立玉江小学校
9月19日（木）	西都市立穂北中学校
9月20日（金）	都城市立祝吉中学校
10月30日（水）	鹿児島市立清和小学校
10月31日（木）	小林市立須木小学校

【本公演】

9月 3日（火）	日田市立南部中学校
9月 4日（水）	佐伯市立直川小学校
9月 5日（木）	佐伯市立本匠小学校
9月 9日（月）	いちき串木野市立串木野西中学校
9月10日（火）	鹿児島市立玉江小学校
9月11日（水）	出水市立野田中学校
10月15日（火）	薩摩川内市立蘭牟田小学校
10月16日（水）	日南市立桜ヶ丘小学校
10月17日（木）	西都市立穂北中学校
10月18日（金）	都城市立祝吉中学校
11月19日（火）	鹿児島市立清和小学校
11月20日（水）	小林市立須木小学校

社会的活動 について

チャリティー協力

日本テレマン協会はこれまで阪神大震災やニューオリンズのハリケーン、JR福知山線脱線事故メモリアルコンサートのほか、様々な災害へのチャリティーコンサート活動を続けてきました。クラシック音楽のコンサートに対する社会の受け入れ方が年々変化しつつある中で、

KBH 支援のためのチャリティーコンサート 第10回記念公演 「バロック楽器で聴くバッハ」

日 時	2019年5月11日(土)
会 場	カトリック神戸中央教会
曲 目	J.S. バッハ： 管弦楽組曲 第5番 G線上のアリア ヴァイオリン協奏曲 第1番 イタリア協奏曲 無伴奏チェロ組曲 第1番より 2つのヴァイオリンのための協奏曲
出 演	指揮・オーガエ：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：U. ブンディース 浅井咲乃 チェロ：鷺見敏 テレマン室内オーケストラ

人と人をつなぐ場であるという理念を協会としては今後も大切にしてくという意味で、「チャリティーコンサート」への参加を積極的にすすめていく方針です。

2019年度のチャリティー協力は以下の通りとなっております。



再生紙の使用

マンスリーコンサート(年間10公演)のチラシ(A4サイズ)及びプログラム(B4サイズ)、定期演奏会(年間10公演)のプログラム(A3サイズ)には、環境に配慮し、100%リサイクルの再生ケント紙「クラークケント」を使用いたしました。

25歳以下1000円券

若い世代のクラシック音楽離れが顕著になっている中、18世紀音楽のすばらしさを気軽に味わって頂き、文化振興の一助になればという思いから、25歳以下の方向けに1000円券の販売を行いました。

子供向けコンサートの実施

通常の演奏会には入場出来ない未就学児向けの演奏会を、学園前ホール(日本環境マネジメント)と協力し、実施致しました。親しみやすい演目を中心に、楽器体験も盛り込みました。

国際交流への協力

作曲家テレマンが活躍した都市ハンブルクと日本テレマン協会所在地である大阪府は1989年に友好都市提携を結んでいます。2019年はその30年目にあたる年ということで、当協会では大阪府との共催で30周年記念事業を実施し

ました。

5月10日開催の第260回定期演奏会ではハンブルク市、大阪市それぞれの市長からメッセージが寄せられ、公演の前に式典が実施されました。公演ではハンブルク・大阪両都市が港湾都市である

ということから、テレマン作曲管弦楽組曲「ハンブルクの潮の満干」などを取り上げました。

8月末にはハンブルク市代表団が訪日。同月28日に大阪府が主催する歓迎レセプションに出演しました。



年 表

1960s

1963

延原武春を中心にテレマンアンサンブル発足。
(現：テレマン室内オーケストラ)

1965

定期演奏会スタート。

1966

大阪文化祭賞（以後 72 と 82）

1968

マンスリーコンサートスタート（会場は津村別院）

1969

テレマン室内合唱団が発足し、室内楽における総合団体
「大阪テレマン協会」となる。

1970s

1970

音楽クリティッククラブ賞（以後 75 と 76）

1975

大阪府民劇場賞（以後 85）

1977

文化庁芸術祭優秀賞（関西より初受賞）
ビクターレコード制作「テレマン協会シリーズ」発売開始。

1980s

1981

G.Ph. テレマン生誕 300 年を記念し、コンサート
(文化庁芸術祭主催)、出版、レコードを発売。

1982

定期演奏会にて L.v. ベートーヴェン交響曲第 9 番「合唱付」
を合唱団・オーケストラ合わせて 100 人で演奏(100 人の第九)。
テレマン室内管弦楽団がドイツへ演奏旅行。テレマンの生地
マクテブルクでの公演実現。

1984

マンスリーコンサートの会場が大阪倶楽部になる。

1985

テレマン室内合唱団・同管弦楽団総勢 70 名、東ドイツ
へ演奏旅行。(“バッハ生誕 300 年記念国際音楽祭”に出演)
サントリー音楽賞（関西より初受賞）

1987

「ベルリン市制 750 年記念音楽祭」に参加。また、ロンドン
デビュー公演を実現。
「ソウル国際音楽祭」参加。日本の室内楽団では初の韓国公演。

1989

テレマン室内合唱団が創立 20 周年を迎え、教会音楽シリーズ
も 100 回記念演奏会を行う。
フランス革命 200 年を記念し、パリ、ボルドー、ヴァルドアール
各都市で公演を行う。

1990s

1991

バロック楽器の団体「コレギウム・ムジクム・テレマン」が
発足。サイモン・スタンデイジや中野振一郎主導のもとで、
様々な試みに着手。海外公演や CD 収録の他、数多くの本邦
初演・世界初演を行う。
G.F. ヘンデル「メサイア」の異なった 9 種の版を連続的に
公演。(～ 01)

1993

季刊誌「ゲオルク」創刊（～ 03）

1995

G.F. ヘンデルの権威・故渡部恵一郎氏の監修のもと、ヘンデ
ル作曲の本邦初演のオラトリオをジェスチャー付きで連続
公演。(～ 01)

1999

中野振一郎&コレギウム・ムジクム・テレマンによるドイツ
演奏旅行。

2000s

2000

ヘンデルのオラトリオ公演にて、上方講談師・旭堂南左衛門
が共演。
琵琶湖水質浄化の紙の使用開始。演奏会を通じた環境改善活
動に着手。
小説「延原武春」（作：中野順哉）が東方出版より出版。
【CD】「J.S. バッハ：チェンバロ協奏曲集」

2002

御当地の歴史を取材した創作講談とのコラボレーション
「音楽絵巻」がスタート。
高田泰治がチェンバロ、フォルテピアノ、ピアノを弾き分
ける協奏曲の夕べに出演し、ソリストデビュー。
【CD】「ラ・フォリア」
【CD】「バッハ以降のチェンバロ協奏曲集」

2003

中野振一郎率いるコレギウム・ムジクム・テレマンがドイツ
へ演奏旅行。「バッハ・フェスティバル in ライプツィヒ
2003」に出演し、C.P.E. バッハ作曲「チェンバロ協奏曲」

の復元後、世界初演を行う。

【CD】「オーボエ協奏曲・パロック名曲集」

2004

【CD】「星に願いを」

2007

ハイドン作曲オラトリオ「四季」の公演が大阪文化祭グランプリ受賞。

2008

協会創立 45 周年を記念して、延原指揮によるベートーヴェン交響曲全曲及び合唱幻想曲、荘厳ミサ曲連続公演を開催。ベートーヴェンの指示したテンポとクラシカル楽器の使用によるこの公演は高く評価されCDに。

【CD】「テレマン作品集② 7つのトリオ・ソナタ」

2009

【CD】「ベートーヴェン・チクルス」リリース。(～11) 延原、ドイツ連邦共和国より功労勲章を受章。延原が大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮するシリーズ(ベートーヴェン交響曲全曲)が始まる。「テレマン室内管弦楽団」改め「テレマン室内オーケストラ」に改称。

2010s

2010

延原、日本フィルハーモニー交響楽団の横浜定期演奏会を指揮。

2011

コレギウム・ムジクム・テレマン解散。「指揮者・延原で」というコンセプトをもとに、関西在住のフリーランスの奏者を集めオーケストラ Orchestra Japan 2011 を結成し、マーラー交響曲第 4 番を演奏。【CD】「ブラームス：交響曲第 1 番」【CD】「高田泰治チェンバロ・アルバム Vol.1」ウッラ・ブンディース、首席客演コンサートマスターに就任。

2012

延原、Orchestra Japan 2011 を率いてドヴォルザーク交響曲「新世界より」を好演。【CD】「マーラー『亡き子を偲ぶ歌』交響曲第 4 番」(「レコード芸術」特薦盤)【CD】「浅井咲乃：ヴィヴァルディ『ムガール大帝』」創立 50 周年事業「大大阪ターフェルムジーク」を開催。

2013

【CD】「U. ブンディース 高田泰治 J.S. バッハ 6つのソナタ」Orchestra Japan 2011 を再結成し、3月11日にレクイエムを奏で続ける追悼公演を開始。

2014

ブランデンブルク州知事に対し、J.S. バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲を大阪にて連続公演することを公約しシリーズ開始。大阪市中央公会堂での定期演奏会がスタート。

2015

【CD】「高田泰治 モーツァルト・アルバム」【CD】「U. ブンディース 高田泰治 モーツァルトヴァイオリン・ソナタ」

中野、シンポジウム「18歳の選挙権で『機嫌よう暮らす』を考える」を関西領事団とともに開催。

2016

【CD】「高田泰治 うつろい」、【CD】「高田泰治 J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲」高田泰治がシーボルト賞受賞式にてドイツ大統領御前演奏に出演。延原武春が音楽監督兼 CEO に就任。

2017

高田泰治が平成 28 年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。【CD】「U. ブンディース 高田泰治 古典派二重奏曲の系譜」定期演奏会「中之島をウィーンに！」シリーズがスタート。

2018

創立 55 周年記念事業「テレマンの街ハンプルクから 中之島をウィーンに！」を開催。延原武春指揮テレマン室内オーケストラが、第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。【CD】「高田泰治ベートーヴェン・アルバム」

2019

浅井咲乃が平成 30 年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。4 月、マンスリーコンサートが 500 回を迎える。5 月、P. エスカンデ氏がテレマン室内合唱団指揮者に就任。11 月、ベスト・プロデュース賞を受賞。【CD】「ブランデンブルク協奏曲 全曲」「高田泰治 ショパン&シューマン ピアノ協奏曲集」

日本テレマン協会 後援会について

1980 年、故鈴木剛氏（元住友銀行頭取）が中心となり日本テレマン協会の活動を支援するために発足。現在は多くの法人、個人の皆様にご加入いただき、さらなる会員の拡大を目指して積極的な活動を続けています。

役員名簿

2020 年 7 月現在

会 長	尾崎 裕（大阪ガス）	特別顧問	野村明雄（大阪ガス）
副 会 長	高田幸徳（住友生命保険） 沖中 進（朝日放送グループホールディングス）	顧 問	井戸敏三（兵庫県知事） 荒井正吾（奈良県知事） 久元喜造（神戸市長） かれん・ケリー（アメリカ総領事） ヴェルナー・ケーラー（ドイツ総領事） セーラ・ウテン（イギリス総領事） ジャン＝マチュー・ボネル（フランス総領事） ヘラルド・ミヘルス（オランダ総領事） リャボフ・オレグ（ロシア総領事） ルイージ・ディオダーティ（イタリア総領事） イエルーン・ヴェルゲイレン（ベルギー大使館公使参事官） ブ・トアン・ハイ（ベトナム総領事） クリット・タンカナラット（タイ総領事） 呉 泰奎（駐大阪大韓民国総領事） 多川俊映（興福寺寺務老院） ロニー・アレキサンダー（神戸大学大学院教授） 池長 潤（カトリック大司教） 千 宗守（武者小路千家家元） 高口恭行（一心寺長老） 小野善康（経済学者） 高木慶子（上智大学グリーンフケア研究所） 前田万葉（カトリック 枢機卿）
理 事	福田里香（パナソニック） 原 真一（コーナン建設） 北山 隆（大阪音楽大学名誉教授） 宮島登美子（大阪ユニセフ協会） 小野敏夫（クラシック音楽興隆会） 室町鐘緒（三菱 UFJ 銀行） 武市泰夫（関西電力） 井上礼之（ダイキン工業） 穂積一郎（三井住友銀行） 小林哲也（近鉄グループホールディングス） 佐野吉彦（安井建築設計事務所） 入谷泰生（日本クルーズ客船） 鳥井信吾（サントリーホールディングス） 吉田有宏（千寿製菓） 杉浦 正（共和メディカル） 川崎益彦（桜宮ゴルフクラブ） 大林剛郎（大林組）		
監 事	稲畑勝太郎（稲畑産業） 陳 英智（三洋実業）		

年表

1980s	1991
1980 5 月発足。第 1 回理事会開催。会長に鈴木剛氏が就任。	故原会長の後を受けて、監事の波多野一雄氏が第 3 代目の会長に就任。
1982 3 月、理事会にて顧問の設置が承認され、11 月には顧問が決定。 12 月、鈴木剛氏の逝去に伴い、原清氏が第 2 代目の会長に就任。	1997 7 月、大西正文氏が第 4 代目の会長に就任。
1990s	2000s
1990 10 月、原清氏急逝。	2007 7 月、野村明雄氏が第 5 代目の会長に就任。
20	2010s
	2016 7 月、尾崎裕氏が第 6 代目の会長に就任。

法人会員

2020 年 7 月現在

株式会社アークエース	株式会社産業経済新聞社	南海電気鉄道株式会社
株式会社 I H I 関西支社	三幸メリヤス株式会社	西日本旅客鉄道株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	サントリーホールディングス株式会社	日鉄 P & E 株式会社
愛知時計電機株式会社大阪支店	住まいの情報 三宝商会	日本クルーズ客船株式会社
医療法人 友仁会 浅井整形外科	J F E エンジニアリング株式会社	日本生命保険相互会社
朝日放送テレビ株式会社	J F E スチール株式会社	株式会社博報堂関西支社
稲畑産業株式会社	株式会社芝川本店	パナソニック株式会社
今津建設株式会社	情報技術開発株式会社	阪急電鉄株式会社
江崎グリコ株式会社	株式会社新川製作所	非破壊検査株式会社
株式会社遠藤克彦建築研究所	新コスモス電機株式会社	フルライン株式会社
株式会社エンボウ	シンプルライフ 2 1	株式会社三井住友銀行
大阪ガス株式会社	住友生命保険相互会社	三菱電機株式会社
大阪ガス株式会社 東京支社	千寿製薬株式会社	株式会社三菱 U F J 銀行
株式会社大林組 大阪本店	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	矢崎エナジーシステム株式会社 大阪支店
株式会社カネカ	ダイキン工業株式会社	株式会社安井建築設計事務所
関西テレビ放送株式会社	株式会社大広	一般財団法人山田満音楽芸術振興会
関西電力株式会社	株式会社大丸松坂屋百貨店	読売新聞大阪本社
株式会社共和コーポレーション	大和ハウス工業株式会社	讀賣テレビ放送株式会社
近鉄グループホールディングス株式会社	株式会社竹中工務店	学校法人 L A B O - K 学園
株式会社きんでん	株式会社丹陽商会	株式会社りそな銀行
株式会社クボタ	株式会社帝国ホテル	株式会社ロイヤルホテル
株式会社公益社	株式会社データコントロール	ロックペイント株式会社
鴻池運輸株式会社	株式会社電通 関西支社	株式会社ワキタ
有限会社神戸楽譜	東京海上日動火災保険株式会社	匿名 3 社
株式会社公洋	東京ガス株式会社	
株式会社コジマ	東邦ガス株式会社	
コーナン建設株式会社	中井エンジニアリング株式会社	
西部ガス株式会社 東京事務所	中西金属工業株式会社	
桜宮ゴルフクラブ株式会社	名古屋 宗次ホール	

個人会員

2020 年 7 月現在

安積博子	小野敏夫	小浦早苗	白石可居	津越悦郎	福居誠二	山口佳恵子
天野和生	小野久恵	小林 誠	杉浦 正	津田直樹	藤田直照	山住嶮植
池田英美代	梶原健司	小谷公穂	直田春夫	David Jack	堀 則明	山西昭夫
伊藤康夫	金多賀淑久	酒井俊幸	鷺見和彦	土井英一	松本哲生	吉田好道
内田友樹	川岸弘賢	阪田 収	鷺見博子	土井周子	松本好史	米沢 康
延 秀恵	菊枝英興	佐藤晴彦	鷺見良彦	東條良賢	三木依子	和田誠一郎
大西國忠	北浦告三	里見悦子	園崎明夫	仲窪菜穂子	南 茂夫	匿名 30 名
大西淑子	楠雄一郎	更家悠介	高田満國	中西 守	三宅成典	
岡村敬二	黒笹倫代	重森哲二	高橋 香	橋本依子	宮本敏子	
岡本好平	黒田千之	畠田潤作	竹田忠士	廣川信一	家辺孝司	
小川 寛	高 仁宝	清水淳彦	田中佐代	廣瀬隆平	山口敦子	〈敬称略・順不同〉

日本テレマン協会ディスコグラフィー Discography



- テレマン作品集 1
WWCC-7406
ディレクター：中野振一郎
コレgium・ムジクム・テレマン



- バロック・オーボエ協奏曲名曲集
WWCC-7432
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル



- 心のオーボエ
WWCC-7478
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル



- 100人の第九
WWCC-7543
指揮：延原武春
テレマン室内オーケストラ



- テレマン作品集 2
WWCC-7567
オーボエ：延原武春
リコーダー：北山 隆



- ベートーヴェン
交響曲 第1番, 第2番
WWCC-7610
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
交響曲 第3番「英雄」, 交響曲 第4番
WWCC-7622
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
交響曲 第5番「運命」, 交響曲 第6番「田園」
WWCC-7629
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
交響曲 第7番, 交響曲 第8番
WWCC-7639
(クラシカル楽器使用)



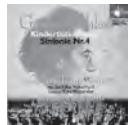
- ベートーヴェン
交響曲 第9番「合唱付」
WWCC-7658
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
「合唱幻想曲」 & 「ミサ曲 ハ長調」
WWCC-7667
(クラシカル楽器使用)



- 高田泰治 チェンバロ・アルバム vol.1
WWCC-7684
J.S. バッハ：パルティータ 第2番
イギリス組曲 第2番 ほか



- マーラー 亡き子を偲ぶ歌, 交響曲 第4番ト長調
WWCC-7695-6 (2枚組)
指揮：延原武春
Orchestra Japan 2011



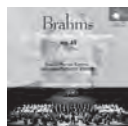
- ヴィヴァルディ
ヴァイオリン協奏曲「ムガール大帝」「四季」
WWCC-7706
ヴァイオリン：浅井咲乃



- バッハ 6つのソナタ
WWCC-7715-6 (2枚組)
ヴァイオリン：U. ブンディース
チェンバロ：高田泰治



- 浅井咲乃の「よろこび」と「かなしみ」
WWCC-7758
F. クライスラー：「愛の喜び」・「愛の悲しみ」
J. マスネ：タイスの瞑想曲 ほか



- ブラームス：ドイツ・レクイエム
WWCC-7778
指揮：延原武春
Orchestra Japan 2011



- モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ
WWCC-7783
ヴァイオリン：U. ブンディース
フォルテピアノ：高田泰治



- モーツァルト・アルバム
WWCC-7788
フォルテピアノ：高田泰治
モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第14番ほか



- うつろい
WWCC-7802
チェンバロ・フォルテピアノほか：高田泰治
L.v. ベートーヴェン：「月光」ソナタ ほか



- J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲
WWCC-7823
チェンバロ：高田泰治



- 古典派二重奏曲の系譜
WWCC-7832
ヴァイオリン：U. ブンディース
チェンバロ・フォルテピアノ：高田泰治



- 高田泰治 ベートーヴェン・アルバム
WWCC-7876
フォルテピアノ：高田泰治



- ブランデンブルク協奏曲全曲
WWCC-7901 ~ 2
指揮：延原武春
テレマン室内オーケストラ



- 高田泰治 ショパン&シューマン ピアノ協奏曲集
WWCC-7906
指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治
テレマン室内オーケストラ

2019年度版 一般社団法人日本テレマン協会 活動報告書

発行 一般社団法人日本テレマン協会

〒530-0002

大阪市北区曽根崎新地2丁目1-17

TEL06-6345-1046

FAX06-6345-1045

tij@cafe-telemann.com

<http://www.cafe-telemann.com/>